

ロシアがウクライナに侵攻するという驚くべき事変が勃発した。先の大戦から八〇年近くも経過した現代に、こんなことが起こりうるのかという衝撃が世界を覆っている。日本も加わって厳しい経済制裁をロシアに課しているが、それは資源価格の高騰や経済の循環を阻害して恐慌というレベルの景気後退に発展する可能性がある。

食糧や資源の多くを他国に依存しながら平然としてきたわが国が最も大きい衝撃を受ける可能性が高いが、経済全般に及ぶ危機感をキチンと持っているのだろうか。

一般教書演説でのインフラ整備の内容

その大騒動の開始直後の三月一日(アメリカ時間)に、アメリカのバイデン大統領が一般教書演説を上下両院合同会議で行った。ロシアのウクライナ侵攻に伴って、ロシア非難などウクライナに関連する事項を多く盛り込む必要があったため、ミサイル発射を繰り返す北朝鮮

ないか」と述べた政治家が日本の与野党にまったく存在しないというのは、どうということなのだろう。

本誌の読者ならよく知っているはずの日本インフラの情けないほどの不十分さ。最大級のコンテナ船が接岸できるコンテナバースは、日本中探しても横浜に一つあるだけ。

片側一車線の正面衝突の危険が高い自動車専用道路を高速道路などと言っている国は、先進国には一つもないが、わが国ではそれが供用延長の三〇%を超えている有様。

道路による移動時間は、高速道路を使っても全国平均で時速六〇キロにしかならない日本だが、それがドイツでは時速九五キロ、フランスでは時速九六キロにもなり、例えば一八〇キロ先に行くのに日本では三時間かかるのに、ドイツ、フランスでは二時間もかからないというハンディキャップ。

日本人の忘れもの

インフラの重要性を理解して、ほぼ一〇年単位で全国的な開発計画

の一般教書演説に学ぶ

バイデン米大統領

国土学アナリスト 大石 久和 Hisakazu Ohishi

問題に触れなかったと批判が出るほどの非常時の演説であった。

それにもかかわらず、驚くべきことにインフラ整備については十分な内容を盛り込んだ演説だったのである。わが国のメディアは、大統領のインフラ発言については簡単にしか触れていないが、緊急事態にもかかわらず、演説のかんりの時間をインフラ整備の重要性の指摘に充てたことが重要なのだ。

我々インフラ人の認識を共有化するために、該当部分の詳細を紹介したい。(日本経済新聞本年三月三日一面の全文紹介欄からの引用) 「米国はかつて世界で最も優れた道路、橋、空港を有していた。しかし我々のインフラは現在世界一三位に落ち込んでいる。米国再建のための史上最大規模の投資である超党派インフラ法の可決が重要だったのはこのためだ。実現に尽力した両党の議員に感謝したい。

これからはインフラを構築するときは、それは二十一世紀に我々が直面する世界、特に中国との経済競争に勝つための道筋をつけるもの

だ。

米国民が負けるほうに賭けるのは決して良い賭けではないと習近平国家主席に言っている。我々は米全土の道路、空港、港湾、水路を近代化し、何百万人もの米国人に良い雇用を創出する。

五〇万カ所の電気自動車充電スタンドの全国ネットワークを構築する。米国人が家庭や学校できれいな水を飲むように、有害な鉛管の交換に着手する。安価な高速インターネットを提供する。

すでに四〇〇〇件のプロジェクトが発表済みだ。今夜は、荒廃した六万五〇〇〇以上の超の高速道路と一五〇〇の橋の修復開始を発表する」。ウクライナへのロシアの侵攻という、先の大戦以降では最大級の非常事態が生じている最中でも、「経済競争に勝つためには、近代化されたインフラが不可欠だ」との認識を一般教書を用いて国民に訴えかけているのだ。

これに対して「わが国は貧弱なインフラで中国やEUと経済競争で勝るのだろうか、充実が不可欠では以外には一国も存在しないが、政治はその認識を欠いている。

日本人は忘れてしまったのである。名神高速道路が出来て以来、自動車による高速移動時代が到来し、それが日本の経済成長を生み出していったことを。一九六四年に東海道新幹線が東京と大阪を結び、ビジネス環境が激変して高い効率性を手に入れたことを。後に中国の国家トップが東海道新幹線に乗車して、そのスピードに驚く様子を我々日本人が誇らしげに見つめたことを。

そして、脊梁山脈が国土を縦貫して急流河川ばかりの国土であるという条件や、東アジアのモンスーン地帯に横たわる弓状列島であるが故に厳しい気象条件とならざるを得ないことから、国民の生命財産を守るためにはしっかりとした防災インフラの整備が不可欠であること

を。誤った財政再建至上主義という脅迫の前に、我々は何もかも忘れてしまったのだ。非常時のバイデン・アメリカ大統領の演説を機に、日本人も正気を取り戻したいものである。

下言上用

Kagen Jouyo